「『ちばっ子』まなびフェスタ'10」について

平成２２年１２月２１日
千葉県教育庁教育振興部指導課
電話０４３－２２３－４０５６

千葉県教育委員会では，平成１８年度から学力向上プロジェクト事業を推進しています。
その一環として，１１月を学力向上推進月間とし，教員や保護者等を対象に，「『ちばっ子』まなびフェスタ」を教育事務所ごとに県内５会場で開催しました。
魅力ある優れた教員によるオープンスペースでの授業公開（「授業劇場」）や県教育委員会から学力向上策についての説明，会場校の授業研究の概要や当日の授業についての説明等を行い，県民の学力向上に関する気運の高揚を図りました。

１　主な内容

（１）「授業劇場」

（２）県教育委員会からの説明〔学力向上プロジェクト事業について〕

①授業づくりへの支援
・「思考し，表現する力」を高める実践モデルプログラム
・特色ある取組の紹介　　・「ちばのやる気」学習ガイド

②子どもの実状の把握
・平成２２年度全国学力・学習状況調査の結果について

③教育環境作りへの支援
・家庭学習への支援　　・読書活動の活性化　　・個別の支援教育計画
・スーパーサイエンスハイスクールの取組

（３）会場校の研究概要の説明及び質疑等

２　実施状況

地域	会場・期日	参加者数	「授業劇場」の概要
葛　南	八千代市立萱田南小学校 11月24日(水)	350名	「算数」 １年[ものと ひとの かず]黒田大介教諭 ３年[はしたの大きさの表し方]丹羽由香里教諭 ６年[分数×分数・分数÷分数]高橋英里子教諭
東葛飾	野田市立岩名中学校 11月18日(木)	344名	「国語」 １年[オツベルと象]間々田英示教諭
北　総	佐倉市立佐倉中学校 11月11日(木)	460名	「社会」 １年[江戸幕府の成立と鎖国]下井克教諭
東上総	茂原市立冨士見中学校 11月25日(木)	258名	「数学」 １年[資料の活用]佐藤尚之教諭
南房総	市原市立八幡小学校 11月19日(金)	381名	「算数」 ４年[面積]河野麻里子･泰原由美子教諭 ６年[比とその利用]齋藤裕美子･石岡敏和教諭
合　　計		1,793名	

「ちばっ子」まなびフェスタ'１０　アンケート結果

１　参加者人数

小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	保護者	その他	合　計
７８５人	４７１人	１３０人	３０人	１２７人	２５０人	１７９３人

２　フェスタの内容は

（%）

	参考になった	少し参考になった	どちらともいえない	あまり参考にならなかった	参考にならなかった
（1）「授業劇場」について	50.9	36.9	7.8	3.3	1.2
（2）県教育委員会からの説明について	47.3	40.3	10.1	1.4	0.8
（3）会場校の研究概要・授業の説明について	47.5	42.4	8.1	1.6	0.3
（4）全体について	45.3	46.8	6.6	0.8	0.5

（アンケート集計は６４３人分）

３　感想や意見（抜粋）

（1）「授業劇場」について

・児童が考える手だてが明確なため，自力解決や話し合いが，学習の方向性からそれることなく，「思考し，表現する力」を積み重ねていると感じた。手だての構造化と具体化の重要性を感じた。

・昨年に引き続き参加して，思考し表現する活動をどのように仕組み，どのような発問や助言，支援を積み重ねて行けばよいか，より明確になった。

・同じ資料を見ても，視点によって意見が変わり，その意見を根拠とともに示す，という訓練が，今日の授業でよくできた。

（2）県教育委員会からの説明について

・千葉県の学力向上についての取組がよくわかったので，他の職員に伝えるとともに，これからの実践に活用していきたいと思う。

・県教育委員会の作成している，家庭学習支援などのホームページの内容について，もっと早く知りたかった。

・授業は自分で見たい教科の授業を近くで見て，分科会で意見交換する機会にした方がよい。

（3）会場校の研究概要・授業の説明について

・知識に偏りがちな高校の授業を「思考し，表現する力」を育てる授業展開にしたい。

・「ヒントカード」「算数のたからもの」など研究校の具体的な授業の手だてや授業の進め方が分かり，良かった。

（4）全体について

・資料が豊富でよく理解できた。

・初めて参加したが，良かった。自校の実践に生かしていきたい。

会場ごとの様子

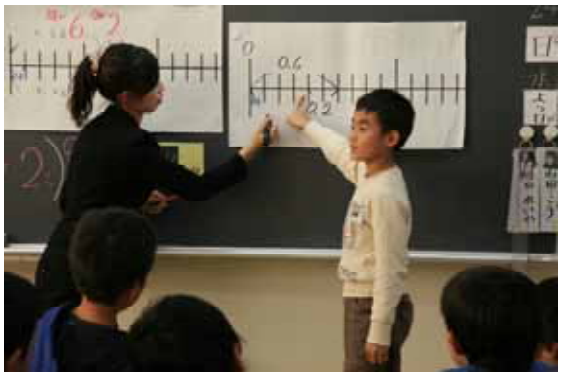
【八千代市立萱田南小学校にて　H22. 11. 24】

１年生と３年生は教室で，６年生は体育館で算数の授業を行いました。研究主題「共に学ぶよろこびを実感する学習をめざして」をもとに研究を進めています。

これまでの学習成果を「算数のたからもの」としてまとめ，これを参考にグループや学級で話し合い，考えを深める場面が見られ，児童は意欲的に学習していました。

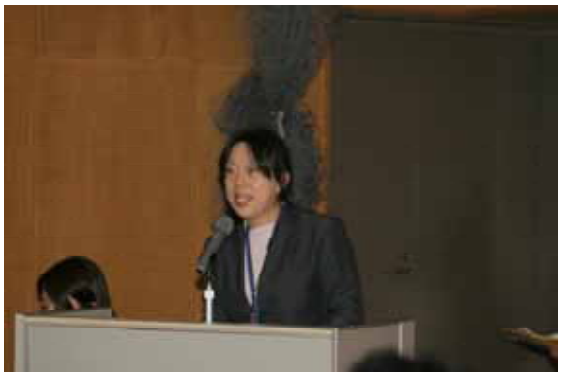
１年算数の授業

山田委員による参観



３年算数の授業

６年算数の授業



会場校の研究概要の説明

全体会の様子

【野田市立岩名中学校にて　H22. 11. 18】

１年生の国語「オツベルと象」の授業を体育館で行いました。「深める」場面では「何ページの何行目の～という表現から」と根拠を明らかにして発表する姿があり，その発表に対して自分はどう考えるのかなど，真剣に話し合っている姿が見られました。「まとめあげる」場面では「自分の考えを２００字以内にまとめる」など具体的な指示があり，生徒の発表から思考の深まりが感じられました。

全体会では、吹奏楽部の華麗な発表があり，参観者を楽しませてくれました。

１年国語の授業

考えたことを発表

電子黒板を使っての説明

班での話し合い

華麗な吹奏楽部の発表

鬼澤教育長の開会挨拶

【佐倉市立佐倉中学校にて　H22. 11. 11】

研究主題「思考力・判断力・表現力の育成を図る学習指導のあり方」をもとに，実践モデルプログラムを活用した授業改善について研究を進めています。当日は，体育館で１年生が社会科の授業を行いました。佐倉市内の小中学校全体で取り組む「佐倉学」を生かした学習でした。グループに分かれ，学習アドバイザーとともに考えを深め，グループごとの発表と意見交換を中心に「深める」場面を中心とした学習が見られました。佐倉中では，すべての教科で実践モデルプログラムの活用に取り組んでおり，教科ごとに利用できる資料を作成し，参加者に配付しました

１年社会科の授業

学習課題について話し合う

学習アドバイザーから話を聞く

班の発表をもとに考えを深める

電子黒板を活用しての発表

川島教育次長の開会挨拶

【茂原市立冨士見中学校にて　H22. 11. 25】

１年生の数学「資料の活用」の授業を武道館で行いました。生徒の意欲を高める学習課題をもとに，グループごとに話し合い，考えをまとめました。各グループでパソコンを操作し，教え合いながら資料を整理している場面は，基礎基本の定着と共に考えの深まりが感じられました。生徒が電子黒板で発表することで分かりやすく，同じ資料であっても様々な解釈ができることを生徒たちが共有していました。冨士見中学校では「学び合い」活動として研究を推進しています。

１年数学の授業

自分の考えを発表

グループでの話し合い活動

考えをノートに書く

電子黒板を使っての説明

発表をもとに考えを深める

【市原市立八幡小学校にて　H22. 11. 19】

４年生は多目的室，６年生は体育館において，ティームティーチングにより「算数」の授業を行いました。４年生では自分の考えを他に説明することで考えを深める手だてとし，６年生では「国分寺の七重の塔のかげの長さ」を求めるなど，児童の生活と結びつけて課題解決を図ることで考えを深める手だてとしていました。また，学んだことをノートに自分でまとめるなど「まとめあげる」場面についても大切に取り組んでいました。

４年算数の授業

いろいろなやり方で解いてみる

班で考えを「深める」

６年算数の授業

自分の考えをノートに書く

少人数での話し合い